

Brief Letter 60

人と地域と医療を繋ぐ秋本病院の情報誌

特集

診療報酬とは？



千一夜医話

秋本病院理事長・院長
秋本 亮一

●給食室より／きゅうりの梅サラダ

●新任スタッフ紹介



医療法人 AGIH

[救急告示病院] [日本医療機能評価機構認定病院]
消化器内視鏡センター／健診センター／緩和ケアセンター



日本医療機能評価機構
認定第GA82-4号

2016 June

SHOP
散策

カゴヤ

►オーナーの原野さん。原野さんから聞くカゴや美味しい食べ物などの話はとても楽しいです



インテリアとしての「かご」を広めたい

薬院六つ角の角地にH27年7月にオープンしたかごの専門店です。オーナーの原野さんはもともと実家のある山口県の宇部市でアンティーク雑貨などを扱うお店を10年ほど営んでおられましたが、縁あって念願の現地でカゴヤを開店されました。

東北の温かみのある手づくりかごに惹かれ、山葡萄、まんだ、マタタビ、クリミなどで編んだかごバッグや、生活用品が所狭しと陳列されています。

毎年6月に会津若松の奥で行われる工人祭りに出かけ、ご自分の目で確かめた品々を仕入れてこられています。また東北の温かい人柄に惹かれ、あちこち出向いては良い出会いに恵まれて仕入れてこられたものもあります。原野さんの希望は、バッグよりも家の中で使うインテリアとしてのかごをもっと広めたいことです。

また各地で出会ったおいしいものも少しだけ置いてあり、五島の海塩、島根隱岐のアラメ、奈良のゴマのキューブなどもお勧めです。そのほか高千穂のしめ縄、ニンニク藁つなども興味深く、原野さんから受ける説明も楽しいです。

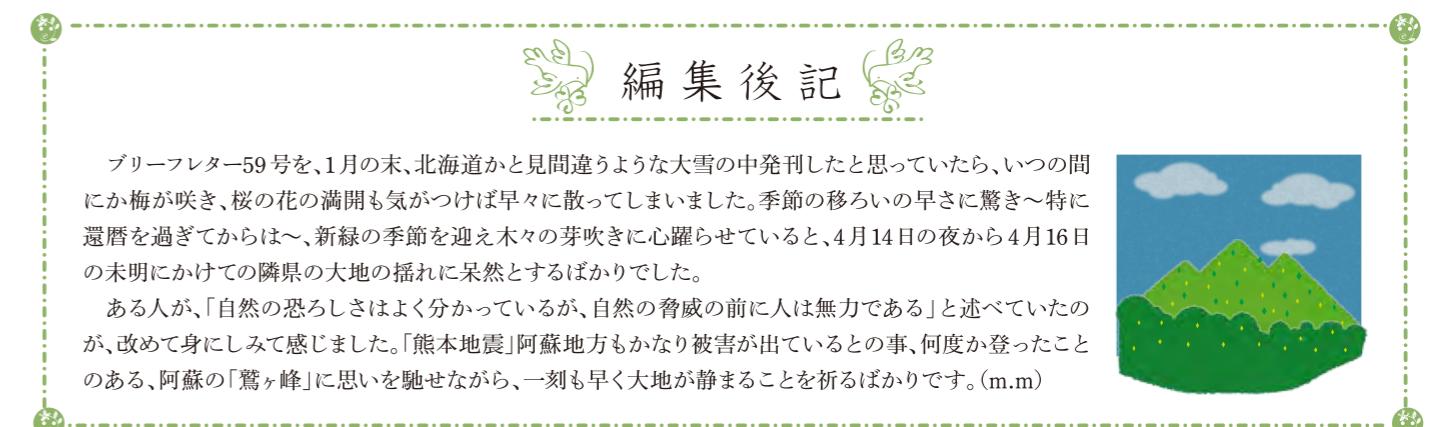
今後もよいものを求めて全国飛び回り、現在は昨秋旅行されたポーランドにも注目しているとのことです。



店舗
情報

カゴヤ

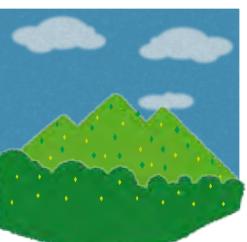
住 所：福岡市中央区薬院1-12-15
電 話：090-4340-4558
営業時間：10時30分～16時30分頃
定 休 日：日曜 ※日曜以外休みの場合もあるため電話をしてから来店したほうが確実です



編集後記

ブリーフレター59号を、1月末、北海道かと見間違うような大雪の中発刊したと思っていたら、いつの間にか梅が咲き、桜の花の満開も気がつけば早々に散ってしまいました。季節の移ろいの早さに驚き～特に還暦を過ぎてからは～、新緑の季節を迎える木々の芽吹きに心躍らせていると、4月14日の夜から4月16日の未明にかけての隣県の大地の揺れに呆然とするばかりでした。

ある人が、「自然の恐ろしさはよく分かっているが、自然の脅威の前に人は無力である」と述べていたのが、改めて身にしみて感じました。「熊本地震」阿蘇地方もかなり被害が出ているとの事、何度か登ったことのある、阿蘇の「鷲ヶ峰」に思いを馳せながら、一刻も早く大地が静まる事を祈るばかりです。(m.m)



秋本病院 ブリーフレター No.60 2016年6月発行 発行者／秋本亮一 発行所／医療法人 AGIH 秋本病院 デザイン／有限会社 広告農場 編集／矢野美恵子
Copyright 2016 Akimoto Hospital All rights reserved.

医療法人 AGIH 秋本病院 福岡市中央区警固1-8-3
TEL:092-771-6361

●診療科目：外科(消化器外科)・内科・胃腸科・肛門科・整形外科・脳神経外科・麻酔科

●外来診療受付：平日8:30～12:30/14:00～17:00 土曜8:30～12:00 ●休診日：日・祝

<http://www.akimoto-hospital.jp/>

秋本病院
の理念

1. 専門医療を通じ、地域社会に貢献します。
2. 皆さまのご満足と安心のために、医療に関する十分な情報を提供します。
3. 質の高い心のこもった医療を続けるために、常に研鑽努力します。

特集

「診療報酬とは?」

ニュースや新聞などで目にすることもありますが、「診療報酬」とは何のことなのか良くわからない…という方も多いのではないでしょうか。実は、今年4月から診療報酬の点数が改定され、病院や薬局に支払う料金など一部変更が生じています。今号では、診療報酬とはそもそもどういったものなのか、そして4月からの改定の内容をわかりやすくまとめてみました。

診療報酬って何?

診療報酬とは医療機関での診療行為に対して支払われる医療費の事です。日本の保険制度では医療費の流れの仕組みは右ページの図の様になっています。患者（被保険者）は保険料を払って保険に加入します。診療を受けた時は医療機関に自己負担分（三割）を支払い、残りは医療機関が審査支払基金を介して保険者に請求します。この際の診療に対する価格を定めた制度を「診療報酬制度」といいます。診療報酬は点数制となっており、1点=10円として計算され、診察や検査、薬など価格が細かく定められています。

診療報酬点数は中央社会保険医療協議会が2年に一度、改定をしていてます。今年はちょうどその改定の年にあたりました。

診療報酬制度の利点の一つは、全國どの病院で診察・診療を受けても同じ金額であるということです。患者側としては、金額を気にせずにどの病院でも安心して診察を受けることができます。逆に医療機関にとっては、医師のスキルや経験・医

療サービスなどが報酬に反映されないという側面もあります。

今回の主な改定ポイント

2016年度の診療報酬改定で重視されているのが「治す医療」から「治し、支える医療」への転換です。この背景には、団塊の世代が75歳以上となる2025年に向けて制度を維持・向上を目指していくという方針があります。来る超高齢化社会をどう迎えていくか、またそれに伴う在宅医療の需要増加なども視野に入れた改定となっているのです。

1かかりつけ医制度の充実

「治し、支える医療」を実現するための施策の一つが“かかりつけ医の充実”です。具体的には、高度な専門医療は大病院、日常の医療は中小病院や診療所、という役割分担をしていくということです。中小病院や診療所のかかりつけ医は患者の健康状況などを見守り、必要に応じて専門的な医療機関につなぐ役目を担います。特に今回の改定では、乳幼児や認知症の高齢者のかかりつけ医

を評価し、その報酬を手厚くするようになっています。

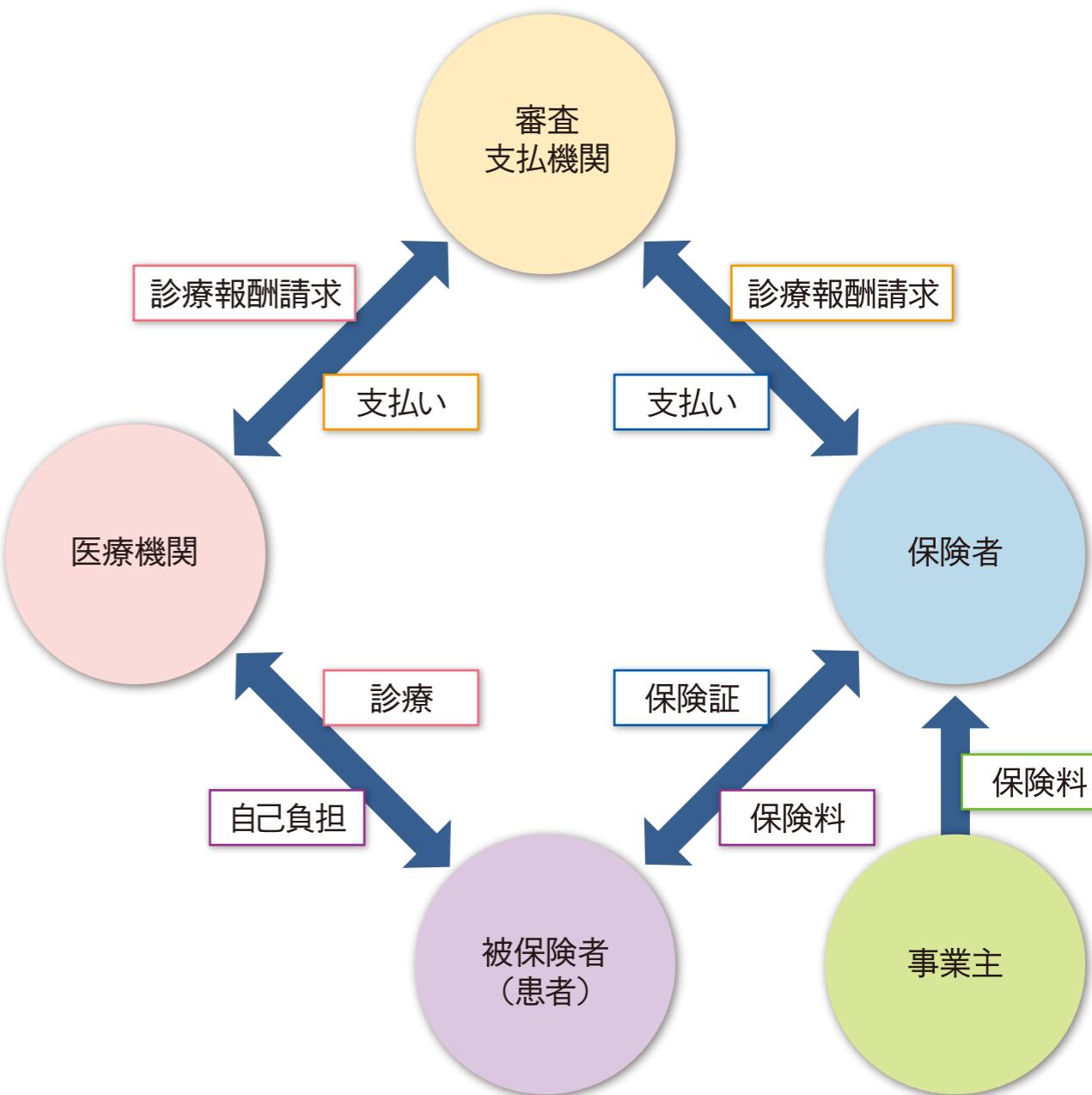
2かかりつけ薬局の充実

改定では医療機関だけでなく、薬剤師（薬局）にもかかりつけ機能を求めています。特に高齢者が複数の医療機関を受診することによる薬の重複などを防ぐため、かかりつけの薬剤師（薬局）が患者の薬を管理していく方向とし、薬局への報酬を手厚くするようになっています。

具体的な例の一つとして、実はこれまでには「お薬手帳」を利用しないほうが医療費は安くなっています。しかし、今回の改定によりお薬手帳を持参したほうが、持参したかった場合と比較して管理指導料が120円安くなります。つまり、保険が3割負担（70歳未満）の患者であれば、医療費は40円安くなるということです。70歳以上の場合は1割負担なので、10円安くなるということになります。

3大病院への集中防止

軽症患者が大病院に集中してしま



新任スタッフ紹介



外来医長・麻酔科専門医
ペインクリニック専門医
おおほらゆうご
大庭 由宇吾

Q1 経歴を教えてください

平成11年九州大学医学部を卒業し、同大学麻酔科に入局しました。最初は手術室で麻酔をするのが主な仕事でした。手術は体への大きな影響を与えるものですが、それを最小限に抑えるのが麻酔の目的です。痛みを取ること、眠らせること、手術中の呼吸・循環・体液管理が仕事でした。

しばらくして麻酔科から救急部へ出向になりました。手術室以外で患者さんを診るようになりました。主に眠った患者さんの治療をする麻酔科だけで働いてきた私にとって、患者さんの声を聞くのは新鮮でした。

患者さんに困っていることを聞くと、ほとんどの人が痛みを訴えておられました。原因の特定と症状の変化を見るために、痛みを和らげない方がいいこともあります。しかし、長く続く慢性痛の場合、原因がどのようなものであっても、まずは痛みを和らげるという方法が良いことが多いのです。麻酔科は痛みを取

機の上でこの原稿を書いています。4月14日と16日の地震の際、揺れの中で私は11年前の「福岡西方沖地震」を思い出しました。地震の直後なら電話が通じると確信で病院に電話をし、無事を確認。ニュースで福岡の被害が大きくなかったと知つてホッとするとともに、隣県熊本の被害に愕然としました。

かつては「災害は忘れたころにやってくる」といわれ、油断しないで備えが大切と云われて来ましたが、今は確実に「災害は忘れる前にやってきます。」九州地方の災害と云えど、台風と梅雨前線の活動による集中豪雨が定番、そして火山災害です。口永良部島と霧島・桜島・阿蘇は活動中ですし、平成3年6月の雲仙普賢岳の大火碎流の記憶はまだ新鮮です。「地震は日向灘！」と勝手に思つていました。が、熊本や天草も昔から地震が多いところだったようです。中学校の地理の時間に、日本地図上の断層線が紀伊半島から四国そして九州を横断していたのを思い出しました。



▲大庭医師と畠地医師を中心とした緩和ケアスタッフ

り除く薬を使つたり、注射をしたりするのが得意です。手術室の外でも麻酔科医として患者さんを助けることができるのはないかと考え、約7年前ペインクリニックの仕事を始めました。

ペインクリニックは痛みの治療をする医療です。慢性痛には麻酔科医の得意分野であるブロック治療（注射により、痛みが脳に伝わるのを途中でブロックして鎮痛する治療）や薬物治療が有効なことがあります。主に外来で、痛みの治療を専門的に行いました。

以上のような仕事を、福岡市やそ

ある九州大学病院の分院で続けた後、今年4月から秋本病院に入職しました。

Q2 入職のきっかけは？

救急部に出向になつたくらいの時期から、秋本病院の当直をしていました。そのご縁で院長先生から誘つていただきました。手術麻酔、ペインクリニックの他、総合診療科として外来診療、緩和ケアも行っています。私の得意分野は、痛みを取り除くあるいは和らげるということです。それをお求められて入職になつたのだと考

えてています。

Q3 今後実現してみたいことは？

これまで同様、手術麻酔と外来での痛み治療は続けていきます。また、入院中のがんの患者さんを担当し、痛みなどのつらい症状が和らぐよう治療を行っています。この緩和ケアという分野は、今とても求められています。たとえば、痛みを和らげ、不安を和らげることを目標にして、たくさんの研究、経験を通して日々進歩しています。とてもやりがいのある仕事です。

すべての仕事を通して、痛みを和らげ、不安を和らげることを目標に治療を続けていきます。どうぞよろしくお願いいたします。



診療情報管理士
うえのゆうだい
上園 裕大

このたび、診療情報管理士として入職しました。管理士としてのキャリアは3年程で、以前は熊本の病院に勤めていました。前の職場では管理士が3人いて、それぞれの担当業務だけをこなしていましたが、こちらに来てからは様々な業務を任せられることとなり、目の回るような日々を過ごしています。

そして熊本と言えば4月に地震の被害に見舞われ、今も多くの被災者が避難生活を送つていると聞きました。熊本に滞在していたのは3年という短い期間でしたが、愛着もあり、医療従事者としてだけでなく一個人としても支援をしていきたいと思っています。

最後に、初めての事も多く色々指導いただく事もあるかと存じますが、皆様のご期待に応えられるよう精一杯務めたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

千一祇園話



秋本院 理事長・院長
あきもと りょういち
秋本 亮一

災害は忘れる前にやってくる

まだゆらゆら揺れが時々襲つてくる机の上でこの原稿を書いています。4月14日と16日の地震の際、揺れの中で私は11年前の「福岡西方沖地震」を思い出しました。地震の直後なら電話が通じると確信で病院に電話をし、無事を確認。ニュースで福岡の被害が大きくなかったとを知つてホッとするとともに、隣県熊本の被害に愕然としました。

かつては「災害は忘れたころにやってくる」といわれ、油断しないで備えが大切と云われて来ましたが、今は確実に「災害は忘れる前にやつきます。」

九州地方の災害と云えど、台風と梅雨前線の活動による集中豪雨が定番、そして火山災害です。口永良部島と霧島・桜島・阿蘇は活動中ですし、平成3年6月の雲仙普賢岳の大火碎流の記憶はまだ新鮮です。「地震は日向灘！」と勝手に思つていました。が、熊本や天草も昔から地震が多いところだったようです。中学校の地理の時間に、日本地図上の断層線が紀伊半島から四国そして九州を横断していました。

JMATを編成して現地に派遣します。



「自助・共助・公助」

現地の医療機関の被害は甚大です。災害時の医療支援体制は、まず直後に

D-MAT（災害時派遣医療チーム）が活動します。D-MATとは医師、看護師、業務調整員（医師・看護師以外の医療職及び事務職員）で構成され、大規模災害や多傷病者が発生した事故などの現場に、動き機動性を持った、専門的な訓練を受けた医療チームの事です。阪神淡路大震災を教訓に、全国の災害拠点病院を中心とし、また、被災地域の病院、診療所に編成され訓練されています。今回の熊本地震でも発災直後より全国から集結し活動しています。急性期が過ぎると

JMATが編成され被災地に投入されます。JMATとは日本医師会災害医療チームの事で、郡市区医師会を基本単位として編成されます。避難所・救護所における医療を担当することを主たる役割とし、また、被災地域の病院、診療所の診療への支援も、重要な役割の一つです。現地の医療体制が回復するまでの間、地域医療を支えるための組織と云うことになります。福岡市医師会もJMATを編成して現地に派遣します。

最後に、防災の基本は「自助」です。自ら緊急避難グッズを準備したり、家具の転倒防止対策をしたり、避難経路を確認したりなど防災対策に取り組んでおくことが大切なことを痛感させられます。来るまでは、時間がかかります。日頃から「共助」。消防や警察の救助隊＝「公助」が来ます。時に、命はまず自らが守る。命があれば家族や近隣を助けることが出来る。すなわち「自助・公助」が、来ます。時間がかかります。日頃から

2/9(月) ハワイ視察研修

4泊5日で福岡市救急病院協会の海外救急医療施設視察研修に看護師の小川、宮崎の2名が参加しました。研修先はハワイで、2ヶ所の施設を訪問しました。まず、ハワイパシフィック大学では施設の見学や説明を聞き、アメリカの看護師のシステムを学びました。次に行ったトリブラー陸軍病院のスタッフは軍人なのでユニフォームは軍服、迷彩というのに驚きました。

NICUとERのシステムが興味深く、NICUでは、その日一日のひとりの患者に必要なものは揃えていたり、手術室を設け緊急時はすぐ手術ができ、ヘリコプターまでの移送も直結で行ける仕組みになっていました。ERでは、ER看護師がトリアージ・問診・視診・検査・投薬をして医師の診察まで段取りしていました。大学でも病院でもスキルアップのためのシミュレーションを日々行っているそうです。

国は違いますが個人のスキルアップの重要性を感じました。今回の研修は施設見学の学びだけではなく、他の救急病院協会のスタッフの方とも交流を持つことができ、よい情報交換の場となりました。今後に生かせる貴重な経験ができました。



4/1(金) お花見開催

毎年恒例になっている警固公民館でのお花見…何日も前から、天気予報に一喜一憂しながら、4月1日に決行しました。残念ながら快晴の空の下での花見とはいきませんでしたが、曇り空でも桜の鮮やかさに、気持ちは晴ればれ！



満開の桜の見事さ、とにかく豪華ですね。また一陣の風に吹かれて散る花びらが、なんとも素敵で、花より団子と言いつつもお茶の中に入った花びらを風情だ！と言しながら頂きました。春のひと時を満喫した1日でした。

4月初旬 ウッドデッキのリニューアル

当院4F(一般病棟)の「ウッドデッキ」をリニューアルしました。2005年1月のオープンより患者さまに開放感と心地よい時間を過ごして頂いておりましたが、近年へこみや反り返りなどが目立ち始め、今回全面的に改修致しました。これからのさわやかな季節、ぜひディルームでご家族や面会の方と過ごしながら利用して頂ければと思います。



4/15(金) 院内医療安全研修

当院の医療安全管理委員会は年間2回、全職員を対象にした研修を行い安全への認識を深めています。今回は、パラマウントベッド様のお力を借りて『転倒・転落事故の低減』に向けた研修を行いました。夜勤明けや休みのスタッフも参加しての研修です。実際の当院の病室を撮影したKYT(危険予知トレーニングの頭文字)で、いきなり問題点を指摘されます。お蔭で勤務後の疲れた体でも眠気は来ません(笑)とても考えさせられる研修でした。これからも患者さまが安心して医療を受けられる体制を構築していきたいと思います。



お知らせ

当院ホームページ更新

2016年4月より新しく常勤医として大庭由宇吾医師が着任しました。スタッフの写真や各部署の最新情報を掲載いたしました。ブリーフレターがお手元に届くころには新しい秋本病院のホームページをご覧いただけると思います。ぜひ一度ご覧下さい。

健診センター長・秋本千賀子が人間ドック学会認定医を取得了しました。



「今は昔の病名——疫病」

松尾 鞠里

幼児期の幽かな記憶の中に、
いまだに忘れられないのは從兄弟の中で一番幼かった、セイキちゃんが突然、疫病という子供の伝染病で死んだことです。

父と母は、セイキちゃんの葬式に出席するために、この伝染力の強い病気を、私に移さないように心配したようです。私は、母方の祖父母に預けられ、父母は葬式よりの帰途、知人のドクターの所で全身消毒をし、でも、家に帰ると庭で全部の衣服を脱ぎ素っ裸になつて風呂に飛び込んだそうです。医療制度が整つた今を生きる私たちには、想像が出来ないかもしれません、入院の際は、自炊用道具、ふとん等、そして付添人が必要で「付添婦」と

病室で患者と一緒に寝泊りをして24時間患者の世話をする仕事。日本の社会通念として長く続いたが、健康保険法の改正で1997年に正式に廃止された。

①付添婦
おもに2~6歳の幼児が赤痢菌に感染したときにみられる特殊な病型。劇症赤痢とも言われた。近年は赤痢患者の減少と軽症化に伴い、国内では疫病は激減している。

②付添婦
病室で患者と一緒に寝泊りをして24時間患者の世話をする仕事。日本の社会通念として長く続いたが、健康保険法の改正で1997年に正式に廃止された。

夕飯にあと1品！簡単サラダ 「きゅうりの梅サラダ」

材料 4人分

きゅうり	3本
梅干し	2個
ツナ缶	小1/2缶
マヨネーズ 大さじ	1
レモン汁	適量

作り方

- きゅうりは板ざりして、すりこぎ等で軽く叩いて手で食べやすい大きさに割りほぐす。
- 梅干しは果肉をほぐし、ツナ缶は汁気を切り、マヨネーズ・レモン汁を混ぜ合わせる。
- 食べる直前に①と②を和えて出来上がり。

相性抜群の梅干しとツナを使った簡単で美味しいサラダです。梅干しにはこれから暑くなる季節に嬉しい疲労回復、抗菌作用など効果があるといわれています。またツナは原料が青魚ですので、ドコサヘキサエン酸(DHA)やエイコサペンタエン酸(EPA)などの多価不飽和脂肪酸を手軽に摂取することができます。

5分程度で出来上がるので、夕食のもう一品にぜひ作ってみてください。

6 Brief Letter

5 Brief Letter